

AS 日本代表和田彩未さん来校

母校で全校に2024パリオリンピック出場を報告

千西一遇

第119号
発行
2024年
9月27日(金)
上田西高 校会
新聞委員会
編集局
編集局長: 田村さくら
新聞委員長: 金井 茉優
大田すみれ
レイアウト: 田村さくら



報告会で生徒会より花束を贈られ、笑顔を見せる和田さん

9月5日(木)に本校出身で2024パリオリンピックアーティスティックスイミング競技に日本代表として出場した和田彩未さん(21卒 川倉上山田中)が来校し、オリンピック出場報告会が開かれた。報告会では、全校生徒に向けてオリンピックでの経験や自身の高校生活について語った。上田西在学時から競技の第一線で活躍してきた和田さんが、24日、競技からの引退を発表した。(金井 茉優)

2024パリオリンピック AS (アーティスティックスイミング) 日本代表チーム種目 結果: 5位入賞

テクニカルルーティン	フリールーティン	アクロバティックルーティン	合計
284,9017	343,0291	252,7533	880,6841

沢山の応援に感謝の気持ち表す 在校生とも交流深める

和田さんは2024パリオリンピックアーティスティックスイミングのテクニカルルーティン、フリールーティーン、アクロバティックルーティーンのうち、3位に入賞したものの、総合順位の結果は5位とあと一歩表彰台には届かなかった。報告会では「結果で恩返し出来なかったことはすごく悔しいが、沢山の応援のおかげで泳ぐことができ嬉しかった」と感謝の気持ちを表した。報告会やその後の記者会見でも、初となったオリンピック出場のご感想や金メダルを獲得できなかった悔しさを話した。最後に「目標を立て、その目標に向かい諦めずに取り組んで欲しい」と全校にエールを送った。



憧れの舞台で記念撮影

「やりきることができた」競技からの引退を発表

西高関係者初のオリンピックを目の当たりにし、3年7組の吉村以莉さんは「上田西出身の方が世界を相手に活躍していることに改めて感激した。自分も勉強と部活をどちらも妥協することなく力を

メンタル面を強化し、「集中」をテーマに大舞台に挑んだ和田さん。競技中には演技を正確にこなすために、気をつけるポイントを意識しながら泳ぎ、最後まで持てる力を出し切った。オリンピックを経験し「スポーツは結果が全てなところがあると感じた」という和田さん。しかし、「代表入りをした2年間で精神面も身体面も成長出来たと感じ、きつい練習を積み重ねてきたことはこれからの人生でも活かせると思う」と振り返った。

24日、長野県庁で行われた県スポーツ特別表彰賞とスポーツ栄誉賞の表彰式後、和田さん

田さんは、愛嬌があり人の話を聞く姿勢もよかったです。世界を舞台に戦っている人というところもあり、人として完成されていた」と話した。(大田すみれ)

アーティスティックスイミング 日本代表メンバー

- 安永 真白 (岡三リビング株式会社)
- 比嘉 もえ (四天王寺高等学校2年)
- 吉田 萌 (愛知学院大学職員)
- 木島 萌香 (アース製薬株式会社)
- 佐藤 友花 (筑波大学4年)
- 和田 彩未 (早稲田大学3年)
- 藤井 萌夏 (中京大学2年)
- 島田 綾乃 (鈴鹿享栄学園鈴鹿高等学校3年)
- 小林 唄 (国土館大学4年)

実は満身創痍で挑んだ初の夢舞台だった。それでも「オリンピックでやりきることができた」と次のステージに向けて前を向いた。(大田すみれ)



記者会見に臨む和田さん



学校に寄贈された水泳日本代表チームのメンバーが記載された皿



存在感を見せる TEAM JAPAN のジャージ



中庭で記念撮影を行った、左から佐藤純也校長、水野一成理事長、本美伊佐夫理事



ステージタイムにはいくつかの強化部を回り、激励を行った